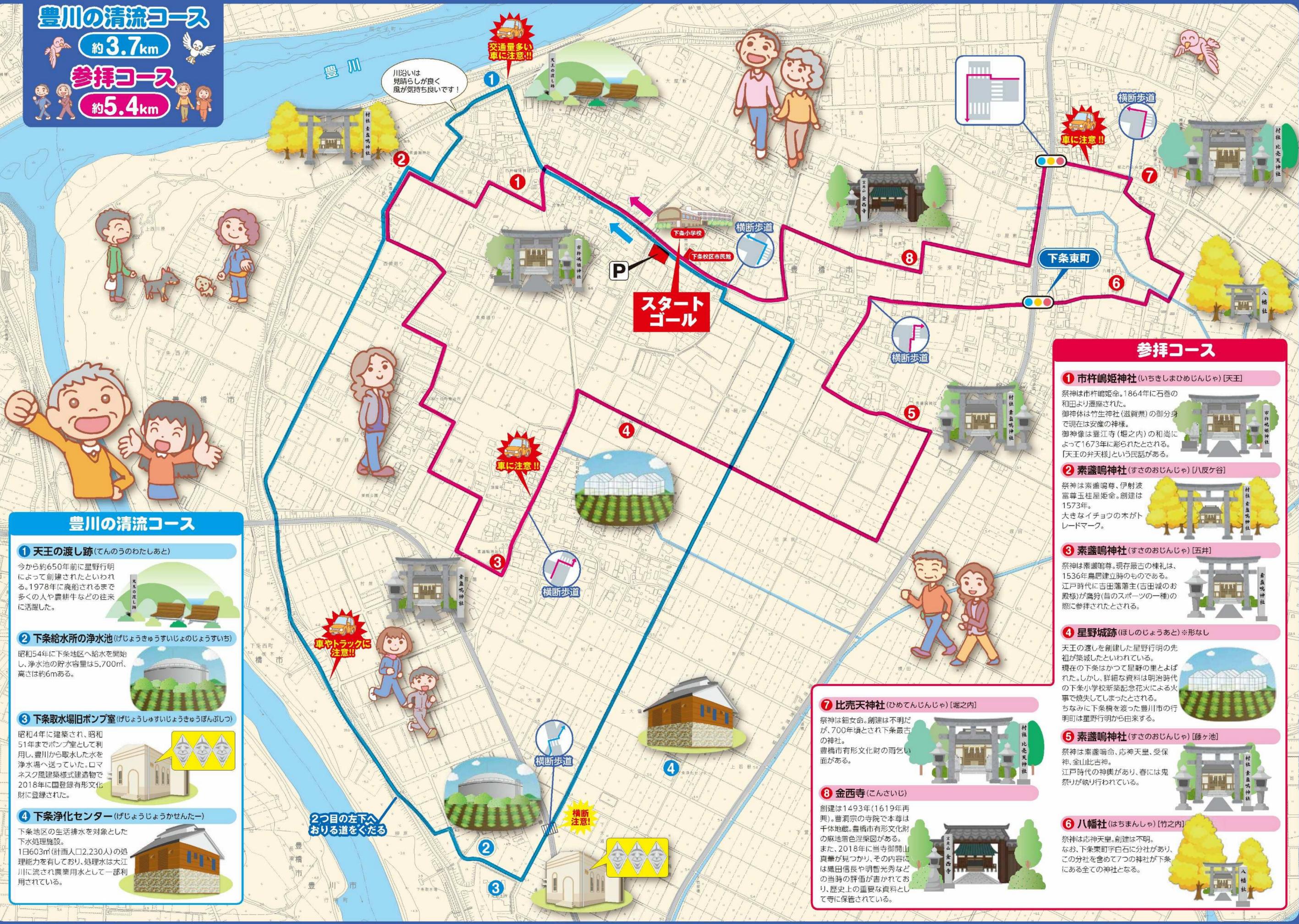


豊川の清流コース

約3.7km

参拝コース

約5.4km



豊川の清流コース

1 天王の渡し跡(てんのうのわたしあと)

今から約650年前に星野行明によって創建されたといわれる。1978年に廃船されるまで多くの人や農耕牛などの往来に活躍した。



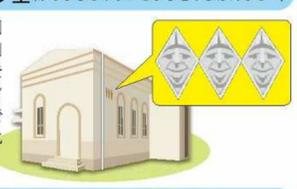
2 下条給水所の浄水池(げじょうきゅうすいじょのじょうすいち)

昭和54年に下条地区へ給水を開始し、浄水池の貯水容量は5,700m³、高さは約6mある。



3 下条取水場旧ポンプ室(げじょうしゅすいじょきゅうほんぷしつ)

昭和4年に建築され、昭和51年までポンプ室として利用し、豊川から取水した水を浄水場へ送っていた。ロマネスク風建築様式建造物で2018年に国登録有形文化財に登録された。



4 下条浄化センター(げじょうじょうかせんたー)

下条地区の生活排水を対象とした下水処理施設。1日603m³(計画人口2,230人)の処理能力を有しており、処理水は大江山に流れ農業用水として一部利用されている。



参拝コース

1 市杵嶋姫神社(いちきしまひめじんじゃ) [天王]

祭神は市杵嶋姫命。1864年に石巻の和田より遷座された。御神体は竹生神社(滋賀県)の御分身で現在は安座の神様。御神像は豊川(堀之内)の和尚によって1673年に彫られたとされる。「天王の弁天様」という民話がある。



2 素盞鳴神社(すさのおじんじゃ) [八反ヶ谷]

祭神は素盞鳴尊、伊射波富尊玉桂屋姫命。創建は1573年。大きなイチチョウの木がトレードマーク。



3 素盞鳴神社(すさのおじんじゃ) [五井]

祭神は素盞鳴尊。現存最古の棟札は、1536年鳥居建立時のものである。江戸時代に吉田藩藩主(吉田城のお殿様)が鷹狩(昔のスポーツの一種)の際に参拝されたとされる。



4 星野城跡(ほしのじょうあと) ※形なし

天王の渡しを創建した星野行明の先祖が築城したといわれている。現在の下条はかつて星野の里とよばれた。しかし、詳細な資料は明治時代の下条小学校新築記念花火による火事で焼失してしまったとされる。ちなみに下条橋を渡った豊川市の行明町は星野行明から由来する。



7 比売天神社(ひめてんじんじゃ) [堀之内]

祭神は紐女命。創建は不明だが、700年頃とされ下条最古の神社。豊橋市有形文化財の雨乞い面がある。



8 金西寺(こんさいじ)

創建は1493年(1619年再興)。曹洞宗の寺院で本尊は千体地蔵。豊橋市有形文化財の麻地青色涅槃図がある。また、2018年に当寺御開山真筆が見つかり、その内容には織田信長や明智光秀などの当時の評価が書かれており、歴史上の重要な資料として寺に保管されている。



5 素盞鳴神社(すさのおじんじゃ) [藤ヶ池]

祭神は素盞鳴命、応神天皇、受保神、金山比古神。江戸時代の神輿があり、春には鬼祭りが執り行われている。



6 八幡社(はちまんしゃ) [竹之内]

祭神は応神天皇。創建は不明。なお、下条東町字白石に分社があり、この分社を含めて7つの神社が下条にある全ての神社となる。

